

2018年3月6日

主催（公財）ミズノスポーツ振興財団

## 「2017年度 ミズノ スポーツライター賞」受賞者決定

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団では、1990年度から「ミズノ スポーツライター賞」を制定しており、2017年度で28回目になります。この賞は、スポーツに関する報道・評論およびノンフィクション等を対象として、優秀な作品とその著者を顕彰するとともに、スポーツ文化の発展とスポーツ界の飛躍を期待し、これからの若手スポーツライターの励みになる事を願い制定したものです。

3月6日（火）、グランドプリンスホテル高輪で選考委員会を開催し、受賞作品および受賞者を以下の通り決定いたしました。

なお、この「ミズノ スポーツライター賞」の表彰式は、4月24日（火）にグランドプリンスホテル新高輪で行います。

### 【ミズノ スポーツライター賞 最優秀賞】（トロフィー、副賞100万円）

該当作品無し

### 【ミズノ スポーツライター賞 優秀賞】（トロフィー、副賞各50万円）

- ・『中南米野球はなぜ強いのか—ドミニカ、キュラソー、キューバ、ベネズエラ、MLB、そして日本—』  
（亜紀書房） 中島 大輔（なかじま だいすけ）
- ・『神は背番号に宿る』（新潮社）  
佐々木 健一（ささき けんいち）

詳細は別記の通りです。

## 記

名 称： 2017年度 ミズノ スポーツライター賞  
制 定 目 的： スポーツに関する優秀な作品とその著者（個人またはグループ）を顕彰し、  
スポーツ文化の発展とスポーツ界の飛躍を期待するとともに、これからの  
若手スポーツライターの励みになる事を願い制定  
選 考 対 象： 主として新聞・雑誌・単行本などを通じて書かれたスポーツ分野の報道・  
評論・ノンフィクション等で、当該年度に発表されたもの

選 考 委 員： 委員長 河野 通和（(株)ほぼ日「ほぼ日の学校長」、『中央公論』  
『婦人公論』『考える人』元編集長）  
委 員 上治 丈太郎（(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会  
組織委員会 参与）  
〃 杉山 茂 （スポーツプロデューサー、  
元NHKスポーツ報道センター長）  
〃 ヨーコ セッターランド（(公財)日本体育協会常務理事、  
スポーツキャスター）  
〃 高橋 三千綱（芥川賞作家）  
〃 水野 英人（(公財)ミズノスポーツ振興財団 副会長）

※順不同

対 象 者：日本人および日本在住の外国人

受賞者及び選考理由：

### 【ミズノ スポーツライター賞 優秀賞】

#### ●『中南米野球はなぜ強いのか—ドミニカ、キュラソー、キューバ、ベネズエラ、MLB、そして日本—』 (亜紀書房)

中島 大輔（なかじま だいすけ）

2017年のプロ野球最大の話はDeNAがクライマックスシリーズを勝ち上がったことだった。ベ이스ターズの采配を取ったラミレス監督は南米ベネズエラ出身である。いつの間にか日本でも中南米の選手たちが活躍するようになってきたが、本書は「ラテン選手」たちの躍進の裏面を探るべく、新進気鋭のライターが写真家の龍フェルケルとともに地球の裏側を探訪した記録である。著者らは2013年から4年間かけて、ドミニカ、オランダ領キュラソー、キューバ、ベネズエラの4つの国と地域を訪ねて、日本のプロ野球界で活躍した選手たちから国情や国民性を聞き、アカデミーなど育成システムを見学しながらの強さの秘密を探っていく。また、中南米ルートを開拓したと言われる中日コーチ（現監督）の森繁和やベネズエラのウィンターリーグに参加した経験のある渡辺俊介をインタビューするなどして、日本とは

違う中南米野球の魅力を紹介してくれる。

4つの取材先が、アメリカべったりからアンチ・アメリカまでそれぞれ異なる事情を抱えていて、しかし、いずれもアメリカ野球、さらには日本野球に深く組み込まれているというその対比が興味深い。そして、現地の風俗や生活、取材の苦労や恐ろしさが率直に語られ、鮮明な写真とともに臨場感を高めている。足で書いたノンフィクション作品らしく、土と汗の匂いと地熱が感じられる力作である。

## ●『神は背番号に宿る』（新潮社）

佐々木 健一（ささき けんいち）

プロ野球をテーマとした異色の本である。本書は2014年にNHK-BS1で放送された『背番号クロニクルプロ野球80年秘話』の制作に際して取材した内容に、テレビ番組では割愛せざるを得なかった部分を含めて再構成し、書き下ろしたものである。

内容は、プロ野球選手の不思議な因縁や人生模様など、生きざまを背番号からひも解いたものである。帯には「背番号という数字にまつわる、選手たちの数奇な人生とは一球史に埋もれていた物語が、ここに蘇る！」とある。いささか大げさだが、収録されたエピソードは確かに興味深い。本書を読むと、つくづく「背番号」がもたらす因縁の不思議と、無機質な数字が情感あふれる人間模様を映し出す妙に感じ入る。その鍵となる数字の洗い出しと数字をめぐるエピソードの検証からある種のプロ野球史外伝を紡ぐという著者の意図は、概ね成功しているといえるだろう。

作者の本業がテレビディレクターとはいえ、リズム感のある文章が読者に映像イメージを届けるような筆力が随所に見られる。これはNHKの番組企画だからこそできたと言えるが、取材の厚みが感じられる読み易く、興味深く、着想も豊かな大変面白い本に仕上がった好著である。

以上

（お問合せ先）

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団事務局 内橋・澤井 TEL. 03(3233)7009  
ミズノ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 小山・山本 TEL. 03(3233)7037